

高砂市の先輩職員にインタビュー



選挙管理委員会事務局
勝部 秀雄

◇ある日の一日

- 8:00 出勤
- 8:30 朝のミーティング
- 8:40 メールチェック
- 10:00 選挙管理委員会会議
- 11:00 議決事項の事務処理
- 12:00 昼食
- 13:00 調査・照会の回答作成
- 15:30 研修会に向けての事例研究会
- 17:15 終業ミーティング
- 17:30 退庁
- 17:45 帰宅
- 18:20 夕食を食べる
- 19:30 ジョギング
- 21:00 入浴
- 00:00 就寝

○高砂市の職員になったきっかけは？

私は生まれも育ちも高砂市ということもあり、地元に対する愛着は並々ならぬものがあります。そんな地元愛から漠然と「この町で人の役に立ちたい。」という思いが生まれ、市職員になることを志望し、現在に至っています。

○現在の仕事内容

現在の選挙管理委員会事務局では、庶務などの全般的なことはもちろん、年1回～2回程度の選挙の執行に関しての準備等のほか、政治や選挙に関心を向けてもらうための出前授業などを担当しています。

○仕事のやりがいや魅力

対応した市民から感謝されたり、対応がよかったと言われたりすると「高砂市職員になってよかった」と感じます。市役所は「やって当たり前」なので、滅多にほめられる事はないですが、こういった生の声は励みになりますね。

○新人の頃を振り返って

上司や先輩から飛ぶたくさんの指示を只々こなしていくことで精一杯であったと記憶しています。今では「あれは私を早く一人前にするための愛のムチだったんだなあ」と感謝しています。

○受験者へメッセージ

自治体職員の仕事の守備範囲は広く、「こんな事まで市役所がするの？」と最初は驚き、戸惑うかもしれません。臆することなかれ！人生何事も経験です。高砂市を愛し、高砂市のために頑張ろうと思っているあなたならやれるはず！

まずはチャレンジすることから始めてみませんか？

